



学校だより ひしのみ

～たくましく かしくく とともに生きる子～

平成30年5月25日(金)

No.12

神崎市立千代田中部小学校
(文責) 校長 田中 達

5・6年生、ありがとう！

21日(月)、5・6年生がプール掃除をしました。昨年の夏季休業中にプール開放が終了し、その後は全く使用していませんでしたので、プール内だけでなく、周りの溝などにもゴミがたくさんたまっていました。

当日、5・6年生は、時間いっぱい掃除に取り組みました。プール内、プールサイドの溝、更衣室、トイレ、入口など、お互いに声をかけ合いながら掃除をしました。おかげで見違えるようにきれいになりました。5・6年生の活躍のおかげで、これから始まる水泳の学習に気持ちよく取り組みます。



なぜ家庭学習は大事ななの？

本校では、今年度の重点項目の一つに「家庭学習の徹底・充実」を掲げています。それはなぜでしょうか。

下記の内容は本校の実態(課題)です。



① 宿題をしない子供がいる。

学級によっては、時々、20%近くの子供が宿題をしてこないことがある。宿題と真剣に向き合っていないと思える状況がみられる。

② 「休日に全く勉強をしない子供」の割合が佐賀県の平均と比較して高い。



この2つのことから、子供たちの学習に対する意欲は、まだ十分に高まってはいないと考えられます。

① 宿題は必ずします。させます。

「家庭学習」というのは、「宿題」だけではありません。「宿題以外の学習」も含みます。

小学校では、低学年時に「宿題をする」ことから始まり、高学年になるにつれて、次第に宿題以外の学習ができるようになり、家庭学習の時間を増やし、中学校でさらに増える学習内容に適應できるようになり、高校では自ら復習や予習ができるようにならなければいけません。

しかし、出発点の「宿題」をしない子供が毎日いるのが本校の実態です。

② 休日にも学習します。

次のデータをご覧ください。「休日に全く学習

H29年度	%
本校	17.2
佐賀県	9.8

をしない子供」(H29佐賀県学習状況調査意識調査から)の割合です。

ご覧のように、県平均値と比較すると、休日に全く学習しない児童の割合が、約2倍

近くにのぼっています。

週末の金曜日に宿題を早く終わらせることはいいことですが、宿題だけでなく、土曜日や日曜日に自分で考えた学習に取り組む習慣を身につけさせたいものです。

子供たちが大人になって仕事に就いてからも「学習」は続きます。その土台となるのが小さいときからの学習習慣です。家庭学習で大切なことは、「自ら学習する習慣」を身に付けさせるとともに、学習に取り組む「集中力、持続力、忍耐力」なども育てていくことです。

「まずは宿題」、そして、次に自ら学習すべきことを見つけて取り組む。このような「学習力」が、大人になってからの「学習」を支えます。子供の将来の姿を考えて、小学生の時から、学習習慣をしっかりと身に付けさせましょう。

<お願い>

① 宿題は必ずさせてください。宿題をしているか、ご家庭で確認してください。

② 土曜日や日曜日に学習する時間を確保してください。お子さんと学習の約束をつくりましょう。

③ 学習道具の忘れ物がないように、登校準備を確実にさせてください。